

琉球大学学術リポジトリ

米国管理下の南西諸島状況雑件 沖縄関係 米国関係
（議員等発言(2)（講演、記者会見等）

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-14 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43840

ラムスフェルド下院議員内話 (昭四四・三七)

ソカビ
万博

大政事外外音
事務房
次官審議長
文会官給
人電厚計
参調折
参領旅移

ア 参北東経
長 中西経
参北経
中南経
参西東洋
長 西東

近ア 参近ア
長 次総経国万
参経統国
参政技二
長 国一理
参協経
長 国
参政経
長 軍社専
参道内外
長 文

高松マニ-ア-?

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

総番号(TA) 9423 主管
 69年3月7日 19時45分 発信 米地
 69年3月8日 10時2分 本省 着

外務大臣殿 下田(大使) 臨時代理大使 総領事 代理

オキナワ返かん問題(内話)

第682号 極秘 至急

往電第660号に関し

7日ラムスフェルド下院議員(共和、イリノイ)が本内に語るところ次のとおり。

(1) 今回の訪日議員団は滞日中各種政党人に会い、各層代表に接し、大変いそがしくひきずり回され、その間しよらそうも感じ、不かいにも思つたが、結局は一同深くインプレスされた。その理由はや張り一週間選挙区の事をわすれさせられ、ヨーロッパ、ヴィエトナムその他の雑念を去つて日本にくぎづけにされていたからである。9月にアメリカン・アセンブリーでまた訪日するが、その人選が大切であり、米日議員けいもうの好機として有効に利用したいと思つている。

(2) 公明党、社会党にも接し、前者は余ゆうが出てきたし、後者は多少落着いてきたかに思われ、サシで各政党に会うことはよいことだと感じた。

極秘

ソカビ

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

(3) オキナワは返かんさるべきであり、基地の態様については、米側としては基地がある以上は種々のオプションを持たざるであらうし、日本側としては本土なみであつてくるであらうし、結局はその間のいかなるヴァリエーションを採択してそり方にしこりを残さず落着き得るかということが問題である。

(4) 自分は昨年のキャンペーンでマクソンこう補と共に行動した経緯あるところ、2、3週間以内に本件に関し、大統領に詳細報告し、積極検討方上申するつもりである。

(5) 議会と本件の関係については、まづマクソン大統領と議会との関係が問題になるが、一部南部保守派議員の新政権のリベラルな態度に対する不満が取ざたされているものの、今後18カ月間は少くとも良好関係を維持すべく、その間に日米問題をかた付けるべきではないかと思う。また議会の日本に対する関心はうすいが、今次訪日議員団等日本に関心を持つものがいるので、これらの意向を議会全体ににじませて行く必要があるものと思つている。シカゴ、ニューヨークに転報ありたい。

(3)